

対話でつなく授業 ～個々を認め合うチーム学習～

岩瀬 竜弥



指導員訪問⑧ 1年 音楽科「ようすをおもいうかべよう」 藤村 奈央子 教諭

マスクを着用した生活も3年過ぎ、校内によく音楽に親しむ姿が見られるようになりました。しかし、同じ調子で歌ったり、はっきりとした発声ではないため歌詞が聞き取りづらかったりすること。そこで授業者は、歌詞を表情豊かに音読し、生活経験と関連付けながら、曲想と歌詞の表す様子や音楽を形づくっている要素とをつながたいと願いました。

本時では、歌詞「はるなつあきふゆ」の言葉から季節



節を思い浮かべ、声色、強弱、体の動きなどを表現し、互いの音楽表現のよさに気づき、試行錯誤して思いや考えをもつ姿があったかどうかです。

まず、**宝箱**が登場。そこから「ゆっくり」「おおきく」など曲想や歌詞を表す18個の言葉を提示。「〇〇だから△△のように歌う」と定型文を示してからチームで話し合い、1枚のシート

に歌い方をまとめ、各チーム（8つ）で練習を開始しました。

その後、各季節ごと四隅に集まって互いに歌の聞き合いです。チーム



秋では、一度歌い終わった後、③のシートが気になりチェック。また、チーム④は何度歌っても3行目「♪いそいで おでかけ」で笑い

行目	チーム秋 ④	チーム秋 ③
1	小さく小さく	やさしい
2	大きく大きく	明るくゆっくり
3	慌てる 早く	笑顔で
4	やさしく 暗い	きれいに

が止まりませんでした。クラス対話では、C33「きれい」と感

じたことから、●T34「どんなところが？」と再度掘り下げて形づくる要素へと迫りました。

協議会では、宝箱を使った言語化のよさ、チーム学習の在り方、クラス対話の展開方法などを話題に。指導員より思いをもった歌唱表現や聞き合うなど音楽的な交流の大切さを学びました。

歌声がどんどん変わります。さらに楽しむ子供



たちに私は吸い込まれました。何とチーム④に刺激され、C38「慌ててた」と**強弱、抑揚**に目を向けた1年生ですよ。

<授業記録より一部抜粋、編集>

- T 1 : (略) 相手のもう一個の季節の歌、聞いてみたくない?
- C 2 : 聞いてみたい。(多数)
- C 3 : 見て見たい。(数名)
- T 4 : この紙(シート)を見て見たいんだ。
- C 5 : そう!
- <同じ季節(秋)を選んだチーム同士で>
- ※秋④ 秋③互いに1回歌い終わった後・・・
- C14 : やさしい?
- C15 : じゃあ見よお、あ、なんか書いてある。
- C16 : ためだよ
- C17 : きれい!きれいにって。
- C18 : たぶん、小さく。 ※互いに4回繰り返し歌う
- <再度チーム内にもどして対話へ> 5分(略)
- <クラス対話へ>
- T 32 : 友達のチームのよかったところ教えて。
- C33 (秋A) : きれいだった。
- T 34 : どんなところがきれいに歌えていた?
- C35 : 一番出だしのところ、「こりすがちよろり」
- C36 (秋B) : 相手のチームの全部がすごい合った。歌が。(「上手だった」と他のつぶやき)
- T 37 : 特にどこが歌詞に合った?
- C38 : 「いそいで」のところ。慌ててた。